

92 サシバ

(タカ目)

兵庫県ランク:B

Butastur indicus

繁殖個体群:B 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:VU(絶滅危惧Ⅱ類)

種の概要

本州、四国、九州では夏鳥、沖縄では旅鳥または冬鳥。兵庫県では主に3-10月に見られる。丘陵から山間の森や水田近くの雑木林に生息する。林の樹梢に営巣し、水田などでヘビ類やカエル類などを捕食する。秋には群れをなして山間部を通過する。



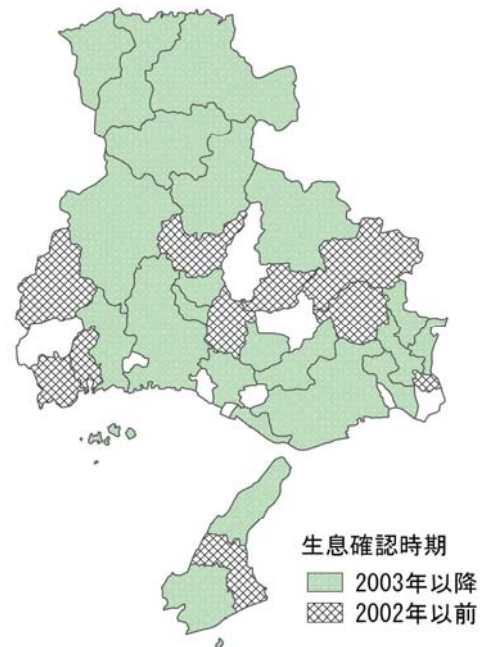
写真提供:三谷康則

国内分布

北海道、本州、粟島、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、男女群島、屋久島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、(洲本市)、(伊丹市)、(相生市)、豊岡市、加古川市、(赤穂市)、(西脇市)、宝塚市、三木市、川西市、小野市、(三田市)、(加西市)、(篠山市)、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、たつの市、猪名川町、市川町、福崎町、(神河町)、(佐用町)、香美町、新温泉町 ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性(特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。
かつてはタカ類中ではトビに次いで数の多い鳥で、各地で繁殖していた。秋の渡りの時期には、山間部で大きな群れが見られる。近年は県中・南部で営巣地が急激に失われ、個体数、分布域ともに減少が著しい。

保護上の留意点

里山や水田周辺などで生物相が豊かな自然環境を保全・再生することが重要。



写真提供:三谷康則